

福島の子どもたちとつながる宇部の会

震災復興への支援、評価

あしたの日本を創る協会の活動賞

県内で唯一受賞、市長に報告

福島の子どもたちとつながる宇部の会（橋本嘉美代表、50人）の橋本代表と事務局の武永佳子さんが17日、市役所を訪れ、

久保田后子市長に「あしたのまち・くらしづくり活動賞・振興奨励賞」の受賞を報告した。

同会は2011年に発足し、福島で避難生活を送る自閉症児とその家族の支援に取り組んでいる。宇部への移住や心の

ケアを手助けすることも、夏休みに家族を招いた短期保養を実施している。

これまでの活動を紹介するリポートを、あしたの日本を創る協会主催の「あしたのまち・くらしづくり活動賞」へ応募したところ、震災復興支援

の活動が認められ、209点の応募の中から33点の入賞作の一つに選ばれた。県内での受賞は同会

のみ。

報告会では、橋本代表が久保田市長に支援の輪が広がった様子と、福島の子供たちや家族と接する中で感じたことを報告した。

活動を支えようと、継続的な支援を行う人や、若者の会員が増えた現状を説明。久保田市長は「市が現在進めている事業と連携しながら、取り組みを継続してほしい」と要

請した。
橋本代表は「賞を受賞することは広報にもな

り、活動を充実させられると思う」と語った。
(白男川)



久保田市長に受賞を伝える橋本代表（左）と武永さん（市役所で）